

世帯と人口

8月1日現在・()内対前月比

世帯	46,949	(+102)
人口	123,318人	(+267)
男	62,763人	(+139)
女	60,555人	(+128)

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

鮎泳ぎ 螢飛び交う川めざし

▼みんなで川をきれいに!!



人間の体の約70%は水分。せせらぎの音に心が潤うのも、水やそれを運ぶ川が、私たちの生存に不可欠だからかもしれません。今回は、海老名市内を南北に流れる目久尻川で、自主的に清掃や草刈り、稚魚放流など幅広い活動を行っている「目久尻川をきれいにする会(飯田英栄会長)」を紹介します。同会は、「メダカやフナ・ハヤが泳ぎ、ホタルが飛び交う、子どもたちの目久尻川にしよう」を合言葉にボランティア活動をしています。

郷土の自然を愛する目久尻川をきれいにする会

河川浄化活動 がきっかけ

「目久尻川をきれいにする会」は平成7年6月、工業用水や家庭から出る雑排水で汚れた目久尻川を、昔のようにきれいにすることを目的に、当時の市議会議員の有志が自治会や地域住民に呼びかけて結成。以来、目久尻川の生態系に合ったフナやドジョウの放流、河川美化啓発ポスター展の開催や河川敷への桜の植樹、河川の一斉清掃などを継続的に続けています。

日ごろの活動や流域の公共下水道の整備などにより、今では、アユの遡上も確認されるようになりました。発足当時約500人だった会員も、こうした活動に共感する人たちが、1026人(8月1日現在)に増えました。佐藤貞夫事務局長は、「この9年間で、汚かった川が、年を追うごとに、透明度を増しています。この川をきれいにしようという一人ひとりの思いが継続した結果、効果として現れたことがうれいすね」と話しています。

「目久尻川をきれいにす

ホタルの里づくり にも取り組む

「目久尻川をきれいにす

もつときれいな 川にしよう

飯田会長は、いつも協力してくれる地域の自治会役員に感謝をしながら、「この川を」春には桜、夏はホタルなど四季折々、楽しめるようなきれいな場所になりたい。最近では、座間市、綾瀬市、藤沢市など目久尻川の流れる市が連携した清掃活動なども行っています。いずれは、この川沿いで、子どもたちの見たホタルの乱舞する様子を再現できたら最高、と夢を話してくれました。

地元小学生が 環境学習

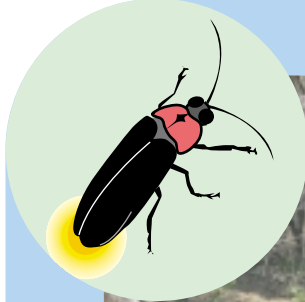
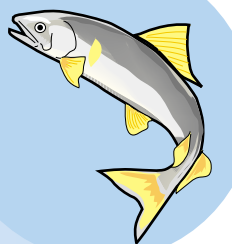
今月中旬、杉本小学校の児童たちが、自然界に生息する微生物を集めて培養したEM菌(有用微生物群)で泥団子を初めて作ります。この泥団子は水質を浄化するため10月上旬、同小の児

今後同会は、多くの人たちに自然の素晴らしさを伝えるため、活動を続けていくことでしょうか。

EM泥団子の 作り方

EM菌と糖蜜、米ぬかを一緒に混ぜて2週間ほど発酵させます。それに土を混ぜて丸く固めます。大きさは野球のボールくらいです。約3週間おいて、真っ白な粉をふいたものが完成品。乾かないように糖蜜を毎日降りかけることが大切です。

目久尻川をきれいにする会
☎231・3774=飯田会長



▶ホタルの幼虫を放流(今年3月)